

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関立安岡小学校

学年での指導体制と交流活動の充実

学年共通の指導体制や様々な交流活動を通して、子どもが安心して学校生活を送る。

学年で一貫した指導体制



ダスキンのお掃除教室でほうきやぞうきんの使い方を教えてもらいました。

年度初めには、下駄箱で履き物を揃えるために、かかとを揃えて履き物を入れることを指導します。



「ゲー、ペタ、ピン」で背筋を伸ばし、姿勢よく座れるように、2学期以降は学校で共通した掲示物を使って、指導します。

成果

- 下駄箱や姿勢、掃除のやり方など、一つひとつのことを丁寧に教えることで、安心して学校生活をスタートすることができた。
- 学年で統一した指導をすることで、学校のきまりなどを共通理解することができた。

幼児、異学年、異年齢との交流活動の充実



2年生に「おもちゃランド」に招待してもらい、2年生が作ったおもちゃで楽しく遊びました。

幼稚園児との交流会で、玉入れやダンスをして楽しく関わりました。一年生が育てた朝顔の種を渡しました。



地域の方を先生としてお招きし、昔遊びの指導をしていただきました。

成果

- 異年齢との交流活動を通して、年下の子に教えてあげる喜びをもち、自信をもつことができた。
- 年上や地域の方に教えてもらって、できるようになる喜びや憧れの気持ちを抱き、意欲を高めることができた。